



北谷 峰二

◆東濃中部医療提供体制検討会について

問一病院化の議論について。仮定としての400床程度の病院建設の想定面積の見込は。

答最近建設をした400床程度の病院敷地面積の事例で約7000㎡から85000㎡で建設される土地の区画形状その土地の法的な規制、例えば建蔽率、容積率等々土地の特性により必要面積、これは非常に大きく変動するもので現時点では具体的に想定していない。

問面積はでないというは建設費用に土地代が一切含まれていないのか。

答200億円という数字を仮置きとして第6回検討会に数字としてあげた。当検討会にて、くどいぐらいに200億と仮の数字であると。造成費土地代等詳細に積み上げてはならない。一般的な建設費からすれば200億の中に土地代を含めることは不可能ではないと想定するが、具体的に入っているのかどうかということであれば、

明確にした数字ではない。

問市民の皆さんの意識調査をされるのか。市民が何をどんな病院を求めているのか。中核病院を担うのであれば東濃全体の中で他の病院では担えないものを担うのか。若い世代では産科は絶対欲しいと。悪性腫瘍のエキスパートと言った専門医の確保。東濃中部だけではなく東濃地区全体でどんな専門医が不足しているのか、専門領域はどうなっているのか。こういった声の調査を進めているのか。

答県の地域医療構想、市の新公立病院改革プラン、東濃厚生病院の公的医療機関改革2025プランを踏まえ急性期、回復期の病床数として400床の数字を積み上げた。この地域に2次医療、救急医療、これを継続的に安心して受けられる病院を考えている。そういった目的でのアンケート調査はしていない。

問瑞浪市と意見の相違があるようだが三者が同一方向に向かっているのか。

答現在協議中である設置場所、経営手法其々の考え方や意見があるが検討会において再確認をし瑞浪市、J A岐阜厚生連と認識の相違はない。

●東濃全域の方が将来の病院に行きたい、かかりたい、かかって良かった、面倒を診てもらえて良かったという病院にしてみよう様、市民の皆さんに経緯経過の報告を願います。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



各務 和彦

◆保育士の業務負担軽減と睡眠中の事故防止について

問ICT化を行うためのシステム導入の事業者の申請は。

答平成二十八年度に花園保育園、花園青空保育園、土岐津保育園（現とさつこども園）の3園が保育士の業務軽減を図るため、補助金を活用。事故防止や検証のための子供の見守りのためのビデオカメラの導入をしている。お昼寝中の事故防止機器の購入補助金については、今のところご紹介を申し上げているが、申請をされるといことはございません。

問土岐市として働き方改革としてのICT化導入の考えは。

答保育士の事務の効率化、業務の負担軽減、非常に重要な問題であるというふうに見えている。業務のICT化等を含めて研究・検討してまいりたいと考えています。

問事故防止マニュアル及び緊急時連絡体制の整備は。

答睡眠中の対策については、0歳児は、5分置き、1、2歳児は15分置き、

3から5歳児については30分置きにチェックを行い、体調の変化に気を配りながら保育を行い、個別の情報や応急手当の基礎知識等を職員間で共有を密にし、緊急時の連絡体制については、マニュアルを作成してまいります。

◆泉児童館について

問施設計画の進展について。

答現在、泉児童館の整備につきましては具体的な計画はございません。今後、全市的な公共施設の再編という形の中でも、方向性について検討していくべき事項かなというふうにご考えてございます。

問建て替え等が無理であるならば、個別に修繕等の時期を明記した施設カルテ等の作成により順次修繕を泉児童館に限らずお願いしたい。

答泉児童館の遊戯室にはエアコンが未設置であるが、熱中症対策など安全な環境の整備ということについて検討してまいりたいと思っております。

◆都市公園草刈り整備について

問次回の草刈り作業の予定を公園の入り口に告知・掲示する案は。

答大まかな予定でも告知する事は難しく、却って不正確な情報でいつになったら実施するのかと市民の方々の混乱を招くことを心配しており、難しいかなと思っております。



水石 玲子

◆女性と子供に優しい環境づくり

◎液体ミルクが4月より店頭で販売可能となったが、災害協定の考えは。

◎現在、災害時の生活物資供給に関する協定を結んでいる事業所の中で5社のうち1社が取り扱われている液体ミルクが調達できるものと認識。

◎小中学校のエアコンの運用指針は。

◎学校環境衛生基準を基本に、夏は6月から9月の間、温度が28度を超えた時と、子供たちの健康面や学習環境面を考慮し、学校長の判断で、柔軟に運用できるようにする。

◎プールサイドの暑さ対策について。

◎平成20年度よりプール改修工事を進めており、遮熱タイプの防火性ビニール床シートを採用している。今後、未実施の駄知、泉西小学校、土岐津、駄知中学校の4校について小学校の方から計画をしている。

◎乳幼児のおむつ替えや授乳ができるラント式の赤ちゃんの駅について。

◎子育て支援という観点から、ニーズ等も踏まえながら検討していく。

◎学習支援について。今秋よりひとり親家庭の子供の学習支援事業が始まるが、進捗状況は。

◎11月から市内に住まわれているひとり親家庭の小学校4年から6年生の児童を対象に、学習習慣の定着等を目的として、ウエルフェア土岐で月3回水曜日の午後6時半から午後8時までとし、学習ボランティアが、学校の宿題や自主学習をする子供達を支援させていただく形で予定している。定員は10名、参加料は無料。

◎参加者の募集周知については、ひとり親世帯にチラシを送付し、現在、参加希望の問い合わせは、7件ほどいただいている状況。

◎保護者、子供の相談コーナーの設置の考えは。

◎保護者からの相談については、子育て支援課に在籍の家庭児童相談員を紹介し、相談に対応していく。



泉小学校プール

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



高井由美子

◆高齢者肺炎球菌ワクチンの経過措置と肺がん検診について

◎高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種率の伸び悩みから、令和5年まで経過措置を延長します。

◎接種率向上の本市の具体的な方法をお伺いします。

◎平成26年から定期接種が実施されています。

◎これまでの5年間、対象の方、65歳以上、5歳刻みの方の毎年対象者の方に個別に案内してきた。

◎今年の対象者の方には、5月に個別通知をした。

◎年度の終了の時期の前の広報で改めて未接種の方は接種の案内をする予定です。

◎広報だけでなく、再度の個別勧奨をして頂きたいと思えます。

◎国立がん研究センターは、平成29年のがん死亡者数、死亡率で一番高いのは肺との報告がされた。

◎日本対がん協会は肺がんも早期に発見、治療すれば、約8割が治るとしています。

◎市の肺がん検診の受診率向上への取り組みをお伺いします。

◎結核検診とあわせて集団検診で市内各地の公民館、地区集会所など毎年7月から8月にかけて16日間、37会場を実施している。

◎今年から保健センターで6時まで時間延長し実施。

◎未受診の方には再勧奨通知として、11月に3日間8箇所を実施する。

◎個別検診の実施に関する実証分析を行った研究論文に、個別検診の普及が受診率を向上させる結果が得られたと結論付けられている。

◎個別検診への考えをお伺いします。

◎開業医さんによっては検診を行えないところもあるかと思えます。現在は集団検診で行っている。

◆放課後教室の現状について

◎放課後教室の現状で土岐津小と泉小の状況が狭い中で多くの子ども達がいいます。子育て環境や支援に対する保護者の満足度への向上への取り組みをお伺いします。

◎校長の了解や協力を得ながら、順次スペース確保を図る。

◆多言語社会での行政サービスについて

◎多言語対応のためのポкетークの導入について伺います。

◎今後、必要に応じて活用を検討していきたい。